

2023年7月24日(月)

跡見学園女子大学学長

小仲 信孝

学生・教職員の皆様

本学における生成 AI の使用に関わる留意点について

近年、ChatGPT (OpenAI) や、Bard (Google)、Bing (Microsoft) など、生成 AI の急激な発展がメディア等で話題となっています。これらは高度な文書や画像、音声等を生成する機能を持つことから、適切に利活用することで学修効果を上げる可能性が期待される反面、レポートや試験答案等の作成に生成 AI のみが使われることで十分な教育効果が得られなくなるなどの懸念も指摘されています。

そこで本学における、生成 AI の使用について当面の考え方を、次の通り周知いたします。

1. 学生に対する留意事項

- ① 本学での学修は自ら考え、自律・自立する自己を確立していくことを目標としているので、これに反するような安易な使用は認めない。
- ② 特に、レポートや試験答案、および諸課題への取り組みにあたって、生成 AI のみを用いて成果物等を作成することは、大学教育のあり方に反するので、認めない。不正行為として認められる場合は、厳格な対応を行うことになる。
- ③ 授業や課題作成などについて生成 AI をどのように用いるかは、教員の指導に従うこと。

2. 使用に関する一般的な留意点

- ① 生成 AI の原理、特徴等について教員、学生とも理解を深め、その時点で最新の情報に目配りをしながら、教育の場にふさわしい利用方法について留意しておくこと。
- ② 生成 AI によって作られた文書や画像等の情報には、不正確なものが含まれることがあるため、その正確さには充分留意し、それが正確であるかについては信頼性の高い資料や情報元によって確認する姿勢を持つこと。
- ③ 生成 AI が示す情報が既存の著作物によっている場合があり、権利侵害に当たる可能性があることから、その情報を使用することが著作権法に反する可能性があることに留意すること。
- ④ 生成 AI に情報を入力したことで、機密情報や個人情報等が意図せず流出・漏洩する可能性があるため、こうした情報を安易に生成 AI に入力することは避けること。

以上は、生成 AI をめぐる国の動向、社会の変化などに応じて、随時改訂いたします。

以上